

平成30年度 中津教育事務所管内中高連携協議会 記録

【期日】	10月23日(火) 13:00~16:45
【場所】	中津市立中津中学校
【参加者】	各中学校教員23名、 県立高校教員10名

1 公開授業参観(中津中学校)の参加者アンケートより(意見、感想含む)

<中学校>

- 「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」が位置づけられ生徒が主体的、対話的に学んでいる姿がうかがえた(多数)
- 「課題」「まとめ」の工夫やICTの活用が素晴らしい
- 「生徒による授業評価」を用いて授業改善が図られていた(多数)
- 「パワーアップ中中プロジェクト」により生徒の集団作りと学力向上が両輪で機能している様子が伺えた
- 「振り返り」を生徒一人一人が自分の言葉でまとめている

<高校>

- 生徒が何を考え、何をしないといけないかを明確に理解できている
- 丁寧な中学校の授業を再認識した
- 授業スタイル(目標、課題、まとめ、振り返り)が完成している
- 授業の中に「考える時間」「生徒の活動の時間」「班の活動」等が十分組み込まれており、活発な授業である
- 高校でも習熟度別の授業が一層必要であると感じた

2 協議で提案された今後の取組

(協議テーマ: 中高連携した授業改善推進の具体策や今後の方向性等について)

(1) 中高の情報共有を促進すること

～中高6年間を見通して生徒が着実に積み上げをしていくために～

- 教員レベルでの取組
 - ・ 中高それぞれの授業公開の一層の充実
 - ・ 中高の教科毎の合同部会開催
 - ・ 中学から高校へのつなぎ教材の作成、活用
- 生徒レベルでの取組
 - ・ 相互乗り入れ授業、ジョイント授業(中学校での高校教員、高校生による授業)
 - ・ 高校体験入学の更なる充実
 - ・ 卒業生による中学校での講話(「ようこそ先輩」等)

(2) 基礎学力・学習習慣の定着に向け中高共通して取り組むべき工夫

～生徒の学習へのモチベーション向上にむけて～

- 授業形態や教材・教具の工夫
 - ・ TT、少人数指導、習熟度別指導、個別指導の充実
 - ・ 共感的理解を伴うグループ学習等の充実
 - ・ ICTの活用促進

○UDの視点による授業構想

- ・ スモールステップでの積み上げ
- ・ 指導と評価の一体化・・・生徒の自信につながる肯定的評価の多用

- ・ 振り返りの工夫（小テストの正答率の向上、生徒同士の確認による自尊感情の向上）

（3）表現力の育成を推進すること

～生徒が主体的に説明する力を向上させるために～

○学習内容や学習方法の工夫

- ・ 生徒の状況を見極めた追求課題の設定
- ・ 主体的な学習活動（調べ学習等）の充実
- ・ 論理的思考に基づく発表の場の保障

3 「中高連携した授業改善の促進」に向けて考えられる具体的な取組（2をふまえて）

（1）高校が実施する中高連絡会における協議内容の充実

～中高6年間を見通した生徒の育成のために～

- ・ 中高における目指す生徒像の共有
- ・ 高校入学後の学力推移の中学校への公開、分析・検証
- ・ 発達の段階に応じた生徒の学習習慣、学習意欲の向上や基本的生活習慣の指導の共通理解
- ・ スクールプランをもとにした授業改善の状況
（例）学びに向かう集団の育成、UDの視点による授業構想、適正な授業形態や教材・教具の活用、生徒の主体的な発信力の育成等

（2）中高合同教科部会の充実（回数増加や内容の精選）

～中高の教員による各教科での協議を通じた共通理解を中心に～

- ・ 中高の学習指導要領に基づく共通理解
（例）つけたい力、指導方法、授業の到達レベル、授業展開等
- ・ つなぎ教材等の合同作成

（3）各中高での授業公開や提案授業等の一層の充実及び参加促進

- ・ 中高の課題を共有し、改善に向けた提案授業の実施
- ・ 年間の授業公開日（週間）、提案授業（事後研含む）の増加
- ・ 学校公開日、提案授業実施日等の中高それぞれへの早めの周知
- ・ 中高教員（場合によっては小学校教員含む）の積極的な参加

（4）中高それぞれへの乗り入れ授業の促進

- ・ 中高合同教科部会等での指導案検討後、乗り入れ授業及び事後検討会の実施
- ・ 生徒による授業評価等（感想、振り返り等含む）の活用